

浦和コルソに木育ひろば 「木の日」のイベント開く

埼玉県木材協会（島崎政敏会長）は8日、浦和駅前のコルソ1階連絡通路で木材利用推進のPR



木育ひろばで自由に遊んだ



親子で丸太切り体験

イベントを行った。「子どもが木と触れ合う機会を提供したい」（同協会）との思いから、積み木やこまなど木のおもちゃで自由に遊べる木育ひろ

ばを設置。大勢の親子が楽しんだ。イベントは午前9時から午後6時まで行った。メインの木育ひろばのほかにも、丸太切り体験や

輪投げ、パズル、木琴、樹種当てクイズなどを用意。子どもが親しめるように工夫を凝らした。駆け寄った子どもからは「楽しいからお母さんも

来て！」「遊びたい！」といった声が聞かれた。このほかケヤキやヒノキ、サワラといった木の特徴の説明には大人も聞き入っていた。10月8日は漢字の「十」と「八」を組み合わせると「木」になるといちなんで、木材利用促進の日と定められている。協会では普及活動に努めており、昨年は県庁内でイベントを行った。